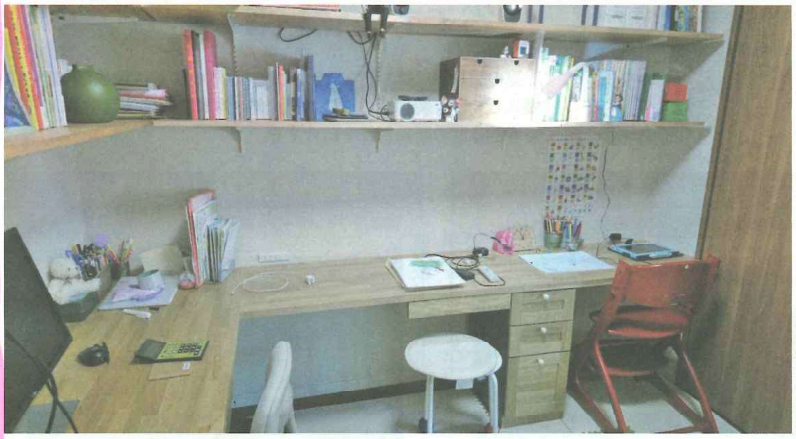
音、ネット環境、間仕切りが鍵

有孔ボードで防音対策

テレワークリフォームのアイデア

クリエすずき建設
（千葉県柏市）

新型コロナウイルス感染症拡大により、テレワークを導入する企業が増えてきた。それに伴い快適なテレワーク環境を求める施主は少なくないだろう。昨年3月、テレワークリフォームのPRをいち早く開始したクリエすずき建設（千葉県柏市）の鈴木一功社長にテレワークリフォームの設計ポイントを聞いた。



▲夫婦2人のための専用テレワークスペース

主な設計ポイントは3つ

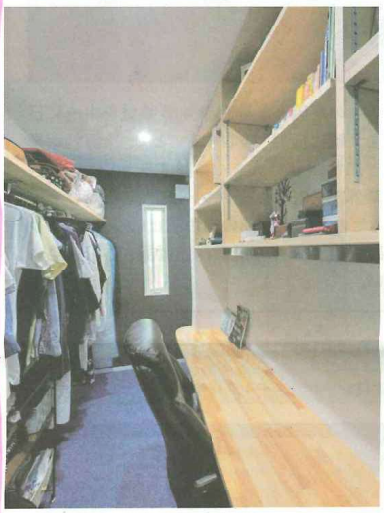
テレワークリフォームの主な設計ポイントは3つと鈴木社長は語る。

1つ目は防音。防音対策がされていないと、例えばオンライン会議中に生活音が入ることがあり相手に迷惑をかけてしまう。加えて、社内の情報が家族などに漏洩するリスクを鈴木社長は指摘する。「戸建て住宅だと基本的に壁は断熱材が入っていたり、二重になっていたりするのであまり音は漏れないかと思います。問題は窓と間仕切りですね」

鈴木一功社長

2つ目はネット環境。防音に配慮するとインターネットの電波が届きにくくなるため、テレワークスペースの近くにWi-Fiルーターを配置できるように設計する必要があると語る。3つ目は間仕切り。間仕切りにすることで、将来的に広い空間に戻しやすくしている。

▼テレワークスペースの需要が増えている



▲ウォークインクローゼットの一角を書斎スペースに

ある戸建て住宅の改修事例では2階を全面改装した。6畳の洋室を2畳のテレワークスペース2部屋に区切り、夫婦それぞれの部屋とした。部屋同士が隣り合うため防音を配慮した設計に。断熱材で防音を兼ね、仕上げに有孔ボードを両面に付けることで音を吸収できるようにした。「フックに物がかかればかかるほど吸音します。壁や物で音をうまく防ぐ設計にしました」。また、階段の上に収納スペースを設置。2階専用のWi-Fiルーターを置くことができ、ネット環境に配慮した。将来的に、広い空間にできるように間仕切りを作っている。

施主は夫婦、子ども2人の4人家族。元々子ども部屋を作りたいという思いがある中で、施主が新型コロナをきっかけに週の半分を自宅で仕事することに。そこで快適なテレワーク環境を手に入れるリフォームへと至った。

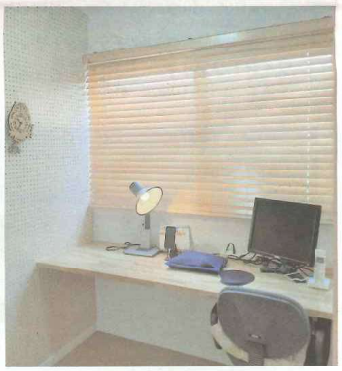
デスクスペースの需要大

昨年3月頃からテレワークリフォームのPRを開始した同社。テレワークリフォームのニーズや傾向はどのようなものがあるのか。

最も多い需要はデスクスペースと鈴木社長は語る。「一番簡単なのは、ウォークインクローゼットの一角を書斎にすること。意外にウォークインクローゼットは物が多いので、音を吸収してくれるのでとても良いと思います」

また、テレワークリフォームのみを依頼するケースは少なく、リフォーム時に意識して提案してほしいというニーズが増えたという。

さらに間取りの提案が大きく変わったと語る。家族構成が変わる時にリフォームを行う施主が多く、コロナ禍前は間取りを大きくする傾向が強かったと指摘。現在はもちろん大きなリビングはあるが、それ以外に約2～3畳の個人スペースがある間取りにしてほしいという問い合わせがあると語る。



▲有孔ボードを採用し、防音対策を行った

建築工事会社向けの専用アプリを探している方へ

職人もストレスフリーで使える現場管理アプリがついに誕生！

現場ポケット GEMPO

圧倒的低価格

導入費用0円・月額8,800円（税別）

安価なのにユーザー数・データ容量無制限!!

チャット・ファイル・日報・写真管理など、現場情報の一元化が可能です！

おかげさまで利用社数 2,279社突破！

利用者の声 vol.9

アルバム機能で写真の撮り忘れがゼロに！

・投稿した写真は自動登録で管理の手間なし
・写真や資料管理も全てアプリ内で
・出退勤がワンタップで

株式会社 ソエジマ
店長 三浦 様

最大2ヶ月間の無料期間でまずはお試しください！

現場ポケット GEMPO

株式会社アステックペイント
092-626-7776
［営業時間］平日 9:00～18:00

詳しくはホームページをチェック！
現場ポケット 検索

まずは資料をダウンロード！→